



2018年5月発行

【発行】学び舎江戸東京ユネスコクラブ

事務所：〒187-0032 小平市小川町 1-904-56

<http://www.unesco.or.jp/manabiya/>

E-mail: manabiya@unesco.or.jp

2018年度学び舎ユネスコ定期総会 講演会・交流会が開催されました

5月27日(日)、学び舎ユネスコ第6回定期総会が小平市立小川公民館で開催されました。開催にあたり冒頭渡部一三会長より、会員の皆さまの日頃からのご支援・ご協力に対する感謝の挨拶のあと、議案審議に入りました。新年度事業の活動の一つ、水と緑環境委員会による小平分水網の調査研究活動に対して、新たにとうきゅう環境財団より活動助成金が付与されること、生涯学習の一環としてこれまで活動している三味線教室に「鳴り物(かね・笛・太鼓など)」を新たに加えること、さらには武蔵野美術大学講師・朱海慶先生による水墨画教室を新しく開設すること、また新役員人事では、長年にわたって当学び舎ユネスコで活動されている鈴木利博氏が「理事」に選任されるなど、議案のすべては全会一致で承認決定され、定期総会は滞りなく終了しました。

続く「第13回学び舎ユネスコ教養文化講座」では、学校法人白梅学園理事長小松隆二先生を講師にお招きし「春の小川とまちづくり」と題してご講演をいただきました。

小松先生は、18年前に山形県庄内地域において東北公益文科大学(山形県酒田市)を創設され、初代学長を務められる傍ら、門扉のない市民・地域住民あがてのまちづくりを展開されたことなど、大学づくりを超えたまちづくりの好事例をご紹介いただきました。先生は「まちづくりとは、みんなにより良いまち、より良い暮らしを創ることだ」と語っておられ、市民本位の全員参加で、全員が享受できるまちづくりを提唱されるとともに、この小平においても、小平の持つ良さ、持ち味・素材を活かしたまちづくりが十分可能であることをご示唆いただきました。

特に小平では、江戸時代からの贈り物である、私たちの心を和ませる原風景、子供たちがホタルと遊ぶ用水路、豊富な素材、緑、街道、学校群などによって小平は夢の持てるまちになりうると、力強く語っていただきました。



身体をほぐして…



フラワー教室の作品紹介



♪ 春の小川 ♪ をみなさんと合唱

講演会後の交流会では、中国健康体操で体をほぐした後、学び舎の各教室の活動紹介や重松麻里子先生による太極拳の剣舞が披露されました。交流会の終わりには懐かしい小学唱歌「春の小川」を参加者全員で合唱してお開きにしました。

ご多忙の中、ご出席いただきました会員の皆さま、ご来場の皆さま本当にありがとうございました。新年度の学び舎ユネスコの活動に、引き続きのご支援とご協力をよろしくお願い申し上げます。 以上